

雜報

●會員動靜

任陸軍三等軍醫正

陸軍一等軍醫從六位勳六等

木村茂樹

免兼職

野戰重砲兵第四聯隊附兼廣島
潛要塞司令部附陸軍一等軍醫

赤塚二郎

岡山衛戍病院長陸軍二等軍醫正

石原貫一

大邱衛戍病院長兼步兵第八
十聯隊附陸軍三等軍醫正

伊庭慶吉

免本職並兼職待命被仰付

陸軍二等軍醫正

簡野松太郎

支那駐屯軍司令部附被免

陸軍二等軍醫正

簡野松太郎

補東京第一衛戍病院附兼陸軍軍醫學校教官

步兵第十一聯隊附陸軍三等軍醫正

難波秀太郎

免本職補山口衛戍病院長兼步兵第四十二聯隊附

步兵第四十聯隊附陸軍一等軍醫

高原來二

免本職補步兵第三十八聯隊附

步兵第一聯隊附陸軍一等軍醫

岸本宗治郎

免本職補陸軍士官學校附兼同校本科教官

深山衛戍病院附陸軍二等軍醫

明渡侃治

免本職補深山重砲兵聯隊附

免本職補步兵第十一聯隊附

札幌衛戍病院附陸軍三等軍醫

森定

惠

四級俸 年貳千下賜
貳百圓下賜

衛生技師

敕使河原文

(三月十七日)

(三月二日)

陸軍一等軍醫正

三河內諄一

陸軍二等軍醫正

橘久三郎

陸軍三等軍醫正

三木徳次

豫備役被仰付

(三月二十三日)

依願免本官並兼官

岡山醫科大學教授兼岡山醫
科大學附屬醫學專門部教授

荒木蒼太郎

賜一級俸

岡山醫科大學教授

荒木蒼太郎

(三月二十一日)

九級俸下賜

臺灣總督府醫院醫官

島山長作

(三月七日)

陸軍三等軍醫正八位勳六等

齋藤尙雄

任陸軍二等軍醫

陸軍二等看護長

竹島光藏

陸軍二等看護長

眞鍋武俊

陸軍二等看護長

岡 暢

陸軍二等看護長

富山四郎

陸軍二等看護長

穂積孝悌

任陸軍三等軍醫

陸軍二等看護長 小野逸士
 陸軍二等看護長 吉松正文
 陸軍二等看護長 黑瀬巖
 陸軍二等看護長 狩野右玄治

(三月三十日)

陸軍一等軍醫止 濱島秀梧

陸軍二等軍醫正 石原貫一

陸軍三等軍醫正 伊庭慶吉

海軍軍醫中佐 江木健三

豫備役被仰付

吳鎮守府附被仰付

海軍軍醫大佐 砂堀雅人

吳鎮守府附海軍軍醫大佐 砂堀雅人

兼補吳海軍病院部員

海軍軍醫中佐 折茂恒治

補佐世保海軍工廠醫務部長

海軍軍醫大尉 高城喬

補馬公要港部部員兼分隊長

海軍軍醫大尉 吉栖生一

補吳海軍工廠醫務部部員

兼補大湊要港部部員

大湊防備隊軍醫長兼分隊長海軍軍醫大尉

伊藤慎一

第八驅逐隊軍醫長心得兼第七驅逐隊軍醫長心得海軍軍醫中尉

大岩博雅

兼第七驅逐隊軍醫長心得被免

扶桑乘組被仰付

海軍軍醫少尉

木村芳雄

(四月一日)

步兵第四十七聯隊附陸軍一等軍醫

淵嘉吉

免本職補野戰重砲兵第五聯隊附

陸軍三等軍醫

佐藤一衛

補步兵第一聯隊附

陸軍二等軍醫

西村英二

補獨立守備步兵第二大隊附

(四月一日)

岡山醫科大學附屬醫學專門部教授

加藤誠治

四級俸下賜

岡山醫科大學教授

金子廉次郎

五級俸下賜

岡山醫科大學助教授

中川小四郎

八級俸下賜

臺灣總督府醫學專門學校教授

杉山榮

(三月三十一日)

敘從五位

正六位勳三等功五級

濱島秀梧

(二月二十六日)

- 山内半作君 は今般日本赤十字社秋田支部病院長を辭し
 大阪市北區同生病院外科部長に就職せられたり
- 藤島新二君 は豫て九州大學醫學部小兒科教室に勤務し
 居られしが今般南滿鐵道瓦房店醫院小兒科主任として就職
 せられたり
- 大城眞郷君 は今般日本赤十字社和歌山支部病院を辭し
 朝鮮慶尙南道馬山慈惠醫院婦人科に勤務せられたり
- 高山榮次郎君 は今般福島市上町佐藤病院眼科に勤務せ
 られたり
- 赤尾壽君 は豫備見習醫官として歩兵第三聯隊に入營中
 の處本月一日滿期除隊となり滿洲撫順滿鐵醫院産婦人科に
 勤務せられたり
- 鈴木敏郎君 は豫備見習醫官として歩兵第十聯隊に入營
 中の處本月一日退營せられたり
- 佐藤忠躬君 は豫て秋田縣仙北郡荒川村荒川鑛山に勤務
 し居られしが今般北海道空知郡美唄礦業所に轉勤せられた
 り
- 高井嘉一君 は豫て豫備見習醫官として姫路歩兵第二十
 九聯隊に入營中の處本月一日退營和歌山日本赤十字社支
 部病院産婦人科に勤務せられたり
- 清水勝男君 は豫備見習醫官として岡山歩兵第五十四聯
 隊に入營中の處本月一日退營し神戸市北長狹通五丁目谷内
 科醫院に勤務せられたり
- 田代登君 は豫備見習醫官として岡山歩兵第五十四聯隊
 に入營中の處本月一日退營、縣立廣島病院耳鼻咽喉科に勤
 務せられたり
- 浮田勝造君 は多年高松市日本赤十字社香川支部病院外
 科に勤務し居られしが今回同院を辭し同市百間町に於て開
 業せられたり
- 伊庭慶吉君 先般陸軍を辭せられたる同君は今回京都府
 綴喜郡井手村に於て開業せられたり
- 西海一君 豫て廣島市澄川病院に勤務し居られし同君は
 今般其職を辭し山口縣熊毛郡麻郷村に於て開業せられたり
- 宗野正君 は豫て大阪市南區難波新地明治病院に勤務し
 居られしが今般同市南區西賑町に於て開業せられたり
- 佐藤俱正君 は今般兵庫縣西宮東口に於て眼科専門にて
 開業せられたり
- 佐藤壽雄君 は今般朝鮮平壤山手町に移轉せられたり
- 内藤達君 は今般大阪市南區北炭町に新築移轉せられた

○三村次郎君 は今回明石市嘉永橋西詰に移轉開業せられたり

○新卒業生諸君消息 新卒業生中本會員諸君の消息は左の如し

- 磯野 隣夫君 岡山醫科大學附屬醫院產婦人科教室勤務
- 井戸 福秀君 同 細菌學教室勤務
- 西下 正巳君 同 藥物學教室勤務
- 釋舍 龍猛君 同 附屬醫院第二内科教室勤務
- 小津 尙君 同 附屬醫院第一内科教室勤務
- 岡野 政一君 同 附屬醫院外科教室勤務
- 渡邊 眞澄君 同 附屬醫院第二内科教室勤務
- 神谷 晃君 同 附屬醫院產婦人科教室勤務
- 神田 薫君 廣島縣立病院外科勤務
- 橘 義一君 神戸病院耳鼻咽喉科勤務
- 田中彦太郎君 岡山醫科大學附屬醫院第二内科教室勤務
- 段 壽君 同 附屬醫院第一内科教室勤務
- 建 義郎君 岡山醫科大學附屬醫院耳鼻咽喉科教室勤務
- 田坂 重實君 小倉市紀念病院勤務
- 永山 太郎君 岡山醫科大學へ入學

上田政治郎君 廣島市大手町澄川内科病院に勤務
 熊谷藏之允君 岡山醫科大學附屬醫院產婦人科教室勤務
 國本 武晴君 大阪市北區絹笠町回生病院「レントゲン」科勤務

- 熊本 正瀨君 岡山醫科大學へ入學
- 安原 寅一君 岡山醫科大學附屬醫院第二内科教室勤務
- 丸山 一郎君 同 附屬醫院產婦人科教室勤務
- 藤田 孝義君 同 附屬醫院眼科教室勤務
- 黃 聯芳君 同 附屬醫院第二内科教室勤務
- 佐野 進君 同 病理教室勤務
- 木多 秀夫君 同 附屬醫院產婦人科教室勤務
- 三好 繁一君 松山市日本赤十字社支部病院勤務
- 廣田 照輝君 岡山醫科大學へ入學
- 杉本 信義君 岡山醫科大學附屬醫院第一内科教室勤務

重松輝好君逝く 君は大正十年岡山醫學專門學校を卒業し和歌山市赤十字社病院、尼ヶ崎紡績會社醫局等に勤務し近時今治市住吉町に於て開業し居られしが去月二十日遠逝せられたりと洵に哀悼に堪へざるなり

内山退藏君逝く 君は明治二十八年第三高等學校醫學部を卒業し爾來兵庫縣城崎郡竹野村に於て開業し居られしが本月十七日永眠せられたりと洵に哀悼に堪へざるなり

●見習醫官任命並配賦 本月十一日附にて本會々員にして見習醫官を命ぜられたる左記諸君は肩書の隊に配賦せられたり

第五師團歩兵第十一聯隊 武田 要

第八師團歩兵第三十一聯隊 吉岡 總一

第十七師團歩兵第五十四聯隊 江原猪知郎

●入學者氏名 本年四月岡山醫科大學に入學を許可せられたる諸君は左の如し

市村 丑雄	市川 隆一	伊藤 駒雄
劉 雄	大田原 一祥	音田 徳太郎
加藤 暢	勝呂 學	吉田 豊太
横山 秀三	田中 一	田端 健久
立石 武雄	佃 毅	永山 太郎
村山 高	上野 博	熊本 正熙
山口 節郎	松森 明	福田 豊
阿久澤 大重	新 勇	佐藤 篤二

佐藤 國男 菊田 兵三 光山 了忍
廣田 照輝 森 一郎 森 長秀

●岡山醫鬻同窓會東京懇親會の盛況 四月一日午後六時淺草今半に於ける斯會に御出席の各位は三十三名の多數に達しました、世話人が慣れぬ爲めに種々の點に於て不行届もありましたにも拘らずかく多數の諸君が萬障を排して御出席下さつたのは世話人一同は限りなき光榮を感謝してをります、先づ永井幹事の挨拶に初まり、宴酣となるや中濱東一郎先生は處世の要道に就いて一場の御話をして下さいました、次いで岡山の伊澤君、京都の中村君、神戸の山口君新歸朝の村山君、最後に山谷幹事の順序に各地の先生及び同窓諸君の御消息やら母校の現況やらに就いて有益にして熱烈なる御演説がありました。斯くて恩師を慕ひ、母校を愛し、友を思ふ切々の情に於て人後におちない此の夜の會衆が互に再會を約し惜しき別れを告げたのは上野の杜から鐘十點が響いてから後でした。(三藤報)

出席者芳名 (順序不同)

中濱先生、小野、山縣、中村、小田、栗栖、山口、安達、村松、伊澤、黒瀬、玉川、平岡、岡、逸見、武田、松井、山本、川上、清水、加藤、井上、川崎、原、村井、戸出、二川、横尾、永井、山本、山谷、三藤の諸君